

～グループ紹介シリーズ～

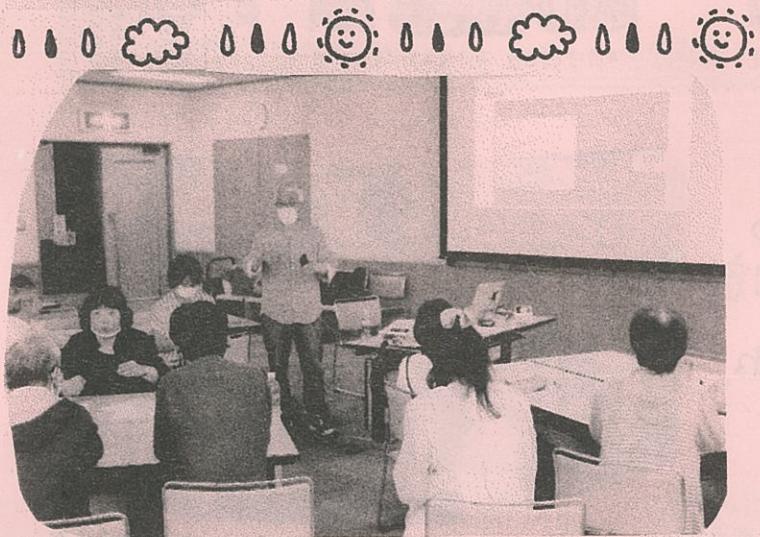
【要約筆記OHPひまわり】



- * 平成3年設立、会員10人（うち難聴者1人）
- * 活動日は第1・第3木曜日10時～13時
- 場所は中央公民館・渋川福祉センター
- * 耳の不自由なたの「きこえの保障」になることを目的とし、主に難聴者、中途失聴者にパソコン・OHC・ノートテイクで筆記通訳。

会員の声

- チームでの連携プレイ活動が嬉しい！
- 言葉を要約する面白さ！
- 実践教室で子どもに伝えられる楽しみ！
- 聞き取れないとき焦る！



《会員：出崎友之さん》
難聴者、UDトーク利用歴3～4年、通常補聴器使用
○話す人にマイクを使用してもらえば、字幕を読み取れる
○屋外では周囲の音が雑音となり補聴器では聞き取れない時、
UDトークが効果あり
○人と一緒にいたいので、コミュニケーション手段として大事

【5/25 ★UDトーク体験★】

～ボランティアサロン～

- * 当日参加者はスマホかタブレット持参で参加
- * 参加者のうち3人は聞こえない人で、通常手話で会話
- * 「UD」はユニバーサルデザインの頭文字
- * 受講者が交代にマイクで話す人になり、それがどのように字幕で表示されるかを体験



【編集後記】

3年振りに「福祉マインドフェア」を開催！

午前中のみのバザー・パネル展示になりましたが、参加者226人、バザーの売り上げ84,660円になりました。パネル展示は34枚、それぞれに創意工夫され見ごたえのあるものでした。

ボラ連に新規加入されました「男性ボランティア活動研究会」のさらなるご活躍を！

編集／発行

尾張旭市ボランティア連絡協議会

〒488-0074

愛知県尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内

TEL(0561)54-4540 FAX(0561)51-1880



ボランティア尾張



令和4年9月号



上半期を振り返って

ボランティア連絡協議会会長 丹羽 瞳

コロナ禍での生活が三年目となる新年度は、2名の役員の交代でスタートしました。毎月の理事会を中止する事無く開くことが出来、5月にはボランティア連絡協議会総会を開催しました。規模を縮小して、第1部のみで、来賓や講師を迎えることが出来ませんでしたが、皆さんの前で報告・提案をし、承認が得られたのがとても良かったです。また、8月には、福祉マインドフェアも開催しました。こちらもバザーとパネル展示のみでしたが、バザー用の品が驚くほど集まり活気ある会場となりました。パネル展示では、各団体がすばらしい作品でグループ紹介をしていて感動しました。こうして無事にマインドフェアを終えられたのは、提供者・来場者・スタッフ・事務局全ての皆さんのご協力のおかげです。ありがとうございました。



令和4年度ボランティア連絡協議会総会開催。

★5月27日(金)渋川福祉センター くすのきホールにて。

コロナ対策のため「各団体2名まで」の制限付きの参加でした。



令和4年度顧問・役員の紹介

<顧問>収集グループあさがお会
大塚 宏子

<会長>音訳グループあけぼの会
丹羽 瞳

<副会長>日本赤十字社尾張旭市地区奉仕団
長谷川 裕子

<副会長>うさぎの会
伊藤 美佐子

<書記>手話サークルあさひ
西村 由美子

<会計>あさひ歌謡会
鈴木 善子

<監査>ガールスカウト愛知県第99団
岡本 京子

<監査>尾張旭市健康づくり食生活改善協議会
石井 トシ子



パネル展示↑
8/5(金)前日準備の様子
←バザー会場



バザー会場入口の様子
たくさんの方々が樂しきに一々
待つてくださいました。



真剣に品定め! ッ ア! というまの壳切れ! ッ



陶器類



～受付の様子～
バザーとパネル展示のみで、コロナウイルス
感染予防対策をしての3年ぶりの開催。
226人の参加者がありました。



会たいへんなにぎわい!
3階バザー会場



石



「ボランティア連絡協議会のパネル展示
広報部みんなのアイデアによる力作！」



☆被災地の現状を実感!!
〔2階パネル展示会場〕
△この緑色の枠、全部
△切手だよ!



男性ホランティア 活動研究会



手助けします みんなの活動と